

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」

2019年総目次(174～185号。全12号配信)

174号：2019年1月1日（24頁＋別ファイル：19 二木 NL174 論文図表.pdf）

1. 論文：経済産業省主導の「全世代型社会保障改革」の予防医療への焦点化－その背景・狙いと危険性（「二木教授の医療時評」(166)『文化連情報』2019年1月号（490号）：22-31頁）
2. 論文：医療経済・政策学の視点から平成30年度同時改定を読む（『病院』2018年12月号（77巻12号）：928-933頁）
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算154回）（2018年分その10：8論文）
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その169）－最近知った名言・警句

175号：2019年2月1日（18頁）

1. 論文：予防医療の推進で「ヘルスケア産業」の育成・成長産業化は可能か？（「二木教授の医療時評」(167)『文化連情報』2019年2月号（491号）：16-21頁）
2. 新著『地域包括ケアと福祉・ソーシャルワーク』のはしがき・あとがき・目次（勁草書房, 2019年1月15日, 308頁, 2500円＋税）
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算155回）（2018年分その11：10論文）
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その169）－最近知った名言・警句

176号：2019年3月1日（33頁）

1. 論文：予防医療で「医療費抑制」は誤り 「社会保障の産業化」も夢想（『週刊エコノミスト』2019年2月5日号：66-67頁、本誌版「社会保障制度審」第31回）
2. BuzzFeed Japan Medical インタビュー（2019年1月25～27日公開。聞き手：岩永直子記者）
<https://www.buzzfeed.com/jp/naokoivanaga/ryuniki>
3. 講演録：地域医療構想と地域包括ケア（2019年2月1日 SANOFI 未来を探る 知的共創カンファレンス FUSION 第一部「医療と経済の未来予測」）
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算156回）（2018年分その12：11論文）
5. 私の好きな名言・警句の紹介（その170）－最近知った名言・警句

補：「医療・福祉研究塾（二木ゼミ）」2019年度のご案内

177号:2019.4.1.（21頁＋別ファイル）

1. 論文：保健医療の費用対効果評価に「労働（生産性）損失」を含めるべきか？

(「二木教授の医療時評」(168)『文化連情報』2019年4月号(493号):16-20頁)

2. インタビュー:地域包括ケアと保健・医療・福祉の連携(『地域包括ケアと医療・ソーシャルワーク』出版記念インタビュー)『文化連情報』2019年3月号(492号):8-15頁)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算157回:7論文)(2018年分その13:4論文)(2019年分その1:3論文)

4. 私の好きな名言・警句の紹介(その172)ー最近知った名言・警句

5. 大学院「入院」生のための論文の書き方・研究方法論等の私的推薦図書(2019年度版, ver. 21)(別ファイル:19院本推薦二木.doc)

178号:2019.5.1(19頁+別ファイル)

1. 論文:予防・健康づくりで個人に対する金銭的インセンティブや「ナッジ」はどこまで有効か? (「深層を読む・真相を解く」(85)『日本医事新報』2019年4月6日号(4954号):20-21頁)

2. 論文:(連載)医療提供体制の変貌ー病院チェーンと保健・医療・福祉複合体を中心に(第1回)私の病院チェーンと複合体研究の回顧(『病院』2019年4月号(78巻4号):281-287頁)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算158回:2019年分その2:6論文)

4. 私の好きな名言・警句の紹介(その173)ー最近知った名言・警句

179号:2019.6.1(17頁)

1. 論文:日医総研「日本の医療のグランドデザイン2030」を複眼的に読む

(「二木教授の医療時評」(169)『文化連情報』2019年6月号(495号):18-22頁)

2. インタビュー:高額薬増加で薬剤費は高騰しない 医療費の「適正水準」維持は可能(『集中』2019年5月号(12巻5号):54-56頁)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算159回:2019年分その3:9論文)

4. 私の好きな名言・警句の紹介(その174)ー最近知った名言・警句

180号:2019.7.1(22頁)

1. 論文:「地域包括ケア研究会2018年度報告書」を複眼的に読む

(「二木教授の医療時評」(170)『文化連情報』2019年7月号(496号):16-22頁)

2. 論文:2010年以降の病院チェーン・複合体の文献レビュー(連載 医療提供体制の変貌 病院チェーンと保健・医療・福祉複合体を中心に 第2回。『病院』2019年6月号(78巻6号):430-435頁)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算160回:2019年分その4:5論文)

4. 私の好きな名言・警句の紹介(その175)ー最近知った名言・警句

181号:2019.8.1 (11頁)

1. 論文：「骨太方針 2019」の社会保障改革方針をどう読むか？
（「深層を読む・真相を解く」(87)『日本医事新報』2019年7月6日号（4967号）：58-59頁）
2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算161回：2019年分その5：7論文）
3. 私の好きな名言・警句の紹介（その176）－最近知った名言・警句

182号：2019.9.1 (19頁)

1. 論文：『平成30年版厚生労働白書』をどう読むか？
（「深層を読む・真相を解く」(88)『日本医事新報』2019年8月3日号（4971号）：58-59頁）
2. 論文：私の「医療者の自己改革論」の軌跡（「二木教授の医療時評」(171)）。『文化連情報』2019年9月号（498号）：10-17頁）
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算162回：2019年分その6：6論文）
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その177）－最近知った名言・警句

183号：2019.10.1 (21頁＋別ファイル：論文2の表)

1. 論文：患者の「（医療機関）選択の自由」は絶対か？
（「深層を読む・真相を解く」(89)『日本医事新報』2019年9月7日号（4971号）：58-59頁）
2. 論文：「地域共生社会」は理念と社会福祉施策との「二重構造」－地域共生社会推進検討会「中間とりまとめ」を読んでの気づき
（「二木教授の医療時評」(172)）。『文化連情報』2019年10月号（499号）：20-25頁）
3. 論文：1999～2011年の医療法人病院チェーンの推移と構造（連載：医療提供体制の変貌③）（『病院』2019年9月号（78巻9号）：669-675頁。表は別ファイル）
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算163回：2019年分その7：5論文）
5. 私の好きな名言・警句の紹介（その178）－最近知った名言・警句

184号:2019.11.1 (18頁＋別ファイル：論文2の表、大阪府医師会講演録)

1. 論文：経産省と厚労省の医療・社会保障改革スタンスの3つの違い－「千三つ官庁」対「現業官庁」
（「二木教授の医療時評」(173)『文化連情報』2019年11月号（500号）：22-27頁）
2. 論文：医療法人以外の病院チェーンの分析（連載：医療提供体制の変貌④）（『病院』2019年10月号（78巻10号）：756-761頁。表は別ファイル）
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算164回：2019年分その8：7論文）
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その179）－最近知った名言・警句

付録：講演録「医療と医療政策を複眼的に読む－拙新著『地域包括ケアと医療・ソーシャルワーク』をベースにして」(2019年7月13日大阪府医師会・医療問題研究委員会特別講演会。『大阪府医師会報』2019年10月号(404号)：3-16頁。別ファイル。大阪府医師会のご許可を得て添付します)。

185号：2019.12.1 (21頁+別ファイル)

1. 論文：医療政策の3大目標(質・アクセス・費用)のトリレンマ説の妥当性を考える

(「二木教授の医療時評」(174)『文化連情報』2019年12月号(501号)：16-22頁)

2. インタビュー：政府文書の読み方、とらえ方－骨太方針2019を中心に(「聞いてみよう 薬剤師の知りたいこと」『調剤と情報』2019年11月号(25巻15号)：51-57頁)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算165回：2019年分その9：7論文)

4. 私の好きな名言・警句の紹介(その180)－最近知った名言・警句

補. 「ニューズレター」2019年総目次(174～185号)。全12号。医療経済・政策学関連の英語論文抄訳の目次、名言・警句の人名索引付き(別ファイル：19二木NL目次.doc)

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」2019(174~185号)

最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文・目次

合計 88 論文 (累計 1084 論文)

174号(2019.1.1)(通算154回)(2018年分その10:8論文)

○ケアマネージャーはハイリスクでハイコストな患者に対する代理人でありストリートレベルの官僚でもある

Swanson J, Weissert WG: Case managers for high-risk, high-cost patients as agents and street-level bureaucrats. *Medical Care Research and Review* 75(5):527-561, 2018
[文献レビュー]

○ [オランダの] 地域居住高齢者に対する統合された個人中心のケア：費用効果分析

Uittenbroek RJ, et al: Integrated and person-centered care for community-living older adults: A cost-effectiveness study. *Health Services Research* 53(5):3471-3494, 2018 [量的研究]

○ [カナダにおける] 病院退院後の再入院を減らすための医師往診の最適なタイミング

Riverin BD, et al: Optimal timing of physician visits after hospital discharge to reduce readmission. *Health Services Research* 53(6):4682-4703, 2018 [量的研究]

○ [アメリカの] 在宅医療：看護師と医師とのコミュニケーション [不全]、患者の重症度と再入院

Pesko MF, et al: Home health care: Nurse-physician communication, patient severity, and hospital readmission. *Health Services Research* 53(2):1008-1024, 2018 [量的研究]

○ [アメリカの] 医療サービスと医療費が少ない [高パフォーマンス] 地域での医療サービス提供者と社会サービス提供者の協力パターン

Brewster AL, et al: Patterns of collaboration among health care and social services providers in communities with lower health care utilization and costs. *Health Services Research* 53(4):2892-2909, 2018 [質的研究]

○ イングランドにおける病院と社会的ケアとのコーディネーションと統合：手術後在院日数への効果

Fernandez J-L, et al: Hospital coordination and integration with social care in England: The effect on post-operative length of stay. *Journal of Health Economics* 61:233-243, 2018 [量的研究]

○ [フランスにおける終身・短期の] 施設利用がアルツハイマー病患者とその家族に与える影響

Rapp T, et al: The impact of institutional use on the wellbeing of Alzheimer's disease patients and their caregivers. *Social Science & Medicine* 207:1-10, 2018 [量的研究]

○ リハビリテーションは脳卒中または一過性虚血発作患者の再入院と死亡リスクを減らした— [台湾の] 全人口ベースの研究

Chang K-C, et al: Rehabilitation reduced readmission and mortality risks in patients with stroke or transient ischemic attack - a population-based study. *Medical Care* 56(4):290-298, 2018. [量的研究]

175号(2019.2.1)(通算155回)(2018年分その11:10論文)

OECD加盟国の医療費 [増加] のパネルデータ分析への分位点回帰分析の適用

Tian F, et al: A quantile regression approach to panel data analysis of health-care expenditure in Organization for Economic Co-operation and Development countries. *Health Economics* 27(12):1921-1944, 2018 [量的研究]

<医師関連 (5論文) >

○病院の専門医への報酬支払い：8高所得国の経験と教訓

Quentin W, et al: Paying hospital specialists: Experiences and lessons from eight high-income countries. *Health Policy* 122(5)473-484, 2018 [国際比較研究・文献レビュー]

○34か国の一般医 (GP) の地域志向

Vermeulen L, et al: Community orientation of general practitioners in 34 countries. *Health Policy* 122(10):1070-1077, 2018 [国際比較研究] ←雑誌巻号追加(191103)

○ [オーストラリアにおける] 一般医 (GP) の労働時間とプライマリケアの待ち時間 Swami M, et al: Hours worked by general practitioners and waiting times for primary care. *Health Economics* 27(10):1513-1532, 2018 [量的研究]

Longden T, et al: supplier-induced demand for urgent after-hours primary care services. *Health Economics* 27(10):1594-1608, 2018 [量的研究]

○ [オーストラリアにおける] 緊急の時間外プライマリケア医療における [企業] 供給者誘発需要

Longden T, et al: supplier-induced demand for urgent after-hours primary care services. *Health Economics* 27(10):1594-1608, 2018 [量的研究]

○家庭医の報酬支払い方式と専門医への紹介：カナダ・オンタリオ州での疑似実験的エビデンス

Sarma S, et al: Family physician remuneration schemes and specialist referrals: Quasi-experimental evidence from Ontario, Canada. *Health Economics* 27(10):1533-1549, 2018 [量的研究]

<Health Affairs 誌 2018年12月号の「テレヘルス」特集 (4論文) >

○ [アメリカの] 医師のテレメディスン利用：まだ標準というよりは例外

Kane CK, et al: The use of telemedicine by physicians: Still the exception rather than the rule. *Health Affairs* 37(12):1923-1930, 2018 [量的研究]

○テレヘルスのエビデンスの現況：簡易文献レビュー

Shigekawa E, et al: The current state of telehealth evidence: A rapid review. *Health Affairs* 37(12):1975-1982 [文献レビュー]

○心不全患者の在宅テレモニタリング：体系的文献レビューとメタアナリシス

Pekmezaris R, et al: Home telemonitoring in heart failure: a systematic review and meta analysis. *Health Affairs* 37(12):1983-1989 [文献レビュー]

○仮想診療は [マサチューセッツ州のある] ACO内の専門医の対面診療を部分的に置き換えた [が、総診療回数は増加した]

Shah SJ, et al: Virtual visits partially replaced in-person visits in an ACO-based medical specialty practice. *Health Affairs* 37(12):2045-2051, 2018 [量的研究]

176号(2019.3.1)(通算156回)(2018年分その12:11論文)

○ [アメリカにおける「オバマケア」成立後の] 2008～2015年の病院システム構造の趨勢を評価する

Walker DM, et al: Assessing trends in hospital system structures from 2008 to 2015. *Medical Care* 56(10):831-839, 2018 [量的研究]

○ [アメリカにおける] メディケイド [の対象] 拡大と病院閉鎖との関係を理解する

Lindrooth RC, et al: Understanding the relationship between Medicaid expansions and hospital closures. *Health Affairs* 37(1):111-120, 2018 [量的研究]

○ 病院に対する [手術・処置の] 最小症例数基準の国際比較

Morche J, et al: International comparison of minimum volume standards for hospitals. *Health Policy* 122(11):1165-1176, 2018 [国際比較研究]

<ヨーロッパ諸国の諸比較 (4論文)>

○ EU加盟国の医療業務補助者：概観

Kroezen M, et al: Health care assistants in EU member states: An overview. *Health Policy* 122(10):1109-1117, 2018 [国際比較研究]

○ ヨーロッパにおける所得不平等と健康のリンクの方程式にプライマリケアの強さ面を加える

Detollenaere J, et al: The link between income inequality and health in Europe, adding strength dimensions of primary care to the equation. *Social Science & Medicine* 201:103-110, 2018 [量的研究]

○ ヨーロッパにおける社会的支出の健康不平等に対する影響

Alvarez-Galvez J, et al: The impact of social expenditures on health inequalities in Europe. *Social Science & Medicine* 200:9-18, 2018 [量的研究]

○ [2008年経済危機後の] 経済の低成長が [ヨーロッパ諸国の] 医療部門改革に与えた影響：国際比較の視点

Saltman RB: The impact of slow economic growth on health sector reform: A cross-national perspective. *Health Economics, Policy and Law* 13(3-4):382-405, 2018 [国際比較研究・政策研究]

<高齢者ケア・長期ケア関連 (4論文)>

○ ドイツにおける長期ケア改革 [介護保険導入] が労働供給に与える影響

Geyer J, et al: Labor supply effects of long-term care reform in Germany. *Health Economics* 27(9):1328-1339, 2018 [量的研究]

○ ヨーロッパ諸国における長期ケア需要と受給資格

Carrino L, et al: Demand of long-term care and benefit eligibility across European countries. *Health Economics* 27(8):1175-1188, 2018 [量的研究]

○ ボランティア団体と [ボランティア団体と自治体による] 高齢者の健康促進活動の共同生産：デンマークでの経験と政策上の教訓

Voluntary associations and co-production of health promoting activities for older adults: Experiences and policy lessons from Denmark. *Health Policy* 122(11):1255-1259, 2018 [政策評価研究]

○ [日本での] 市町村とコンビニ・チェーン間の支援協定 [「高齢者見守り協定」] がコンビニ・スタッフの高齢者支援活動に与える影響

Nakamura Y (中村友亮), et al: Impact of support agreement between municipalities and convenience store chain companies on staff's support activities for older adults. *Health Policy* 122(12):1377-1383, 2018 [量的研究]

177号(2019.4.1)(通算 157回:7論文)

(2018年分その13:4論文)

○終末期 [死亡前1年間] のアメリカの医療費の予測モデリング

Einay L, et al: Predictive modeling of U.S. health care spending in later life. *Science* 360(6396):1462-1465, 2018 [量的研究]

○「リーン」は今日の [イギリス] NHS 病院で持続可能か? : メタ・ナラティブ・統合法を用いての体系的文献レビュー

Woodnutt S: Is Lean sustainable in today's NHS hospitals? A systematic literature review using the meta-narrative and integrative methods. *International Journal for Quality in Health Care* 30(8):578-586, 2018 [文献レビュー]

○高所得国と高中所得国における一般的 [地域] 保健活動における地域住民参加: 地域住民参加における参加の性質、理論の使用、文脈上の推進力および権力関係を探究する体系的文献レビュー

Chuah FLH, et al: Community participation in general health initiatives in high and upper-middle income countries: A systematic review exploring the nature of participation, use of theories, contextual drivers and power relations in community participation. *Social Science and Medicine* 213:106-122, 2018 [文献レビュー]

○プライマリケア受診が他の医療利用に与える影響: [アメリカ・] バージニア州の低所得・無保険者に提供された金銭的インセンティブのランダム化比較対照試験

Bradley CJ, et al: The effect of primary care visits on other health care utilization: A randomized controlled trial of cash incentives offered to low income, uninsured adults in Virginia. *Journal of Health Economics* 62:121-133, 2018 [量的研究]

(2019年分その1:3論文)

○ナッジ以上のことを - 健康の向上により強い主張が求められる時

Ubel PA, et al: Beyond nudges - When improving health calls for greater assertiveness. *NEJM* 380(4):309-311, 2019 [評論]

○個人への体重情報の通知が体重減少と健康行動に与える影響: 回帰不連続デザインのエビデンス

Cook W: The effect of personalized weight feedback on weight loss and health behaviours: Evidence from a regression discontinuity design. *Health Economics* 28(1):161-172, 2019 [量的研究]

○金銭的インセンティブが健康と医療〔費〕に与える影響：〔アメリカの〕大規模ウェルネスプログラムから得られたエビデンス

Einav L, et al: The impact of financial incentives on health and health care: Evidence from a large wellness program. *Health Economics* 28(2):261-279, 2019 [事例研究・量的研究]

178号(2019.5.1)(通算158回)(2019年分その2:6論文)

○患者中心の医療にはイエスだが、患者を消費者と見なすことにはノー

Gusmano MK, et al: Patient-Centered care, Yes; Patients as consumers, No. *Health Affairs* 38(3):368-373, 2019 [評論]

○〔アメリカ・コネチカット州の公務員医療保険における〕高価値の予防医療を増加させる消費者への介入の波及効果

Cliff BO, et al: Spillover effects from a consumer-based intervention to increase high-value preventive care *Health Affairs* 38(3):448-455, 2019 [量的研究]

○効果的な医療費抑制政策：体系的文献レビュー

Stadhouders N, et al: Effective healthcare cost-containment policies: A systematic review. *Health Policy* 123(1):71-79, 2019 [文献レビュー]

○継続的に〔3年連続で〕高額医療の〔アメリカ〕メディケア患者の特徴と消費パターン

Figueroa JF, et al: Characteristics and spending patterns of persistently high-cost Medicare patients. *Health Affairs* 38(1):107-114, 2019 [量的研究]

○〔アメリカにおける〕1999-2012年の高齢者医療費増加の伸び率鈍化を説明する

Cutler DM, et al: Explaining the slowdown in medical spending growth among the elderly, 1999-2012. *Health Affairs* 38(2):222-229, 2019 [量的研究]

○〔アメリカの〕ロード・アイランド州では民間医療保険に「適正価格基準」を導入後、医療費増加率が鈍化した

Baum A, et al: Health care spending slowed after Rhode Island applied affordability standards to commercial insurers. *Health Affairs* 38(2):237-245, 2019 [量的研究]

179号(2019.6.1)(通算159回)(2019年分その3:9論文)

○〔アメリカでは〕急性疾患のプライマリケア診療所受診は2002-2015年に大幅に減少したが、〔病院の〕救急外来受診は中等度に増加した

Chou S-C, et al: Primary care office visits for acute care dropped sharply in 2002-15, while ED visits increased modestly. *Health Affairs* 38(2):268-275, 2019 [量的研究]

○〔アメリカでの病院から〕スキルド・ナーシングホームに転院したメディケア患者に対する〔診療所〕医師〔等〕による初回診察を評価する

Ryskina KL, et al: Assessing first visits by physicians to Medicare patients discharged to skilled nursing facilities. *Health Affairs* 38(4):528-536, 2019 [量的研究]

○〔アメリカにおける〕家族介護者への包括的支援：退役軍人の医療利用・費用への影響

van Houtven CH, et al: Comprehensive support for family caregivers: Impact on Vete

ran health care utilization and Costs. Medical Care Research and Review 76(1):89-114, 2019 [量的研究]

○ [アメリカ・コネティカット州の] ナーシングホームから地域移行した高齢者の転倒のリスクファクター

Marrero J, et al: Risk factors for falls among older adults following transition from nursing home to the community. Medical Care Research and Review 76(1):73-88, 2019 [量的研究]

○ 高齢化と死亡の脱施設化—イングランド・ウェールズからのエビデンス

Leeson GW: The ageing and de-institutionalisation of death - Evidence from England and Wales. Health Policy 123(4):435-439, 2019 [量的研究]

○ より多くの医療を病院外で行う？イングランドにおける地域看護労働力の開発に影響する要因についての質的探索

Drennan VM: More care out of hospital? A qualitative exploration of the factors in influencing the development of the district nursing workforce in England. Journal of Health Services Research & Policy 24(1):11-18, 2019 [質的研究]

○ [日本での] 経腸栄養患者の自宅と病院の治療費の比較分析—レセプトデータの後方視的分析

Maeda M, et al: A comparative analysis of treatment costs for home-based care and hospital-based care in enteral nutrition patients: A retrospective analysis of claims data. Health Policy 123(4):367-372, 2019 [量的研究]

○ 日本人は自国の医療制度と医療サービスに満足しているか？調査データからの実証的エビデンス

Ii M (井伊雅子), et al: Are Japanese people satisfied with their health care system and services? Empirical evidence from survey data. Health Policy 123(4):345-352, 2019 [量的研究・国際比較研究]

○ 削減は簡単だが、リバウンドも簡単：韓国での薬価大幅引き下げに伴う医薬品費

Kwon H-Y, et al: Easy cuts, easy rebound: Drug expenditures with massive price cut in Korea. Health Policy 123(4):388-392, 2019 [量的研究]

180号(2019.7.1)(通算160回)(2019年分その4:5論文)

○ [ベルギーとフランスにおける] 医師の追加料金：維持可能な制度か？

Calcoen P, et al: Supplementary physicians' fees: A sustainable system? Health Economics, Policy and Law 14(1):40-60, 2019 [政策研究]

○ フランスでのプライマリケアチームの普及は農村部での一般医の吸引と保持を改善したか？

Chevillard G, et al: Has the diffusion of primary care teams in France improved attraction and retention of general practitioners in rural areas? Health Policy 123(5):508-515, 2018 [政策研究・量的研究]

○ [アメリカの] 病院の供給費用：医療サービス研究の重要な要素

Abdulsalam Y, et al: Hospital supply expenses: An important ingredient in health s

ervices research. Medical Care Research and Review 76(2):240-252, 2019 [量的研究]

○病院間競争は効率を改善するか？イングランドでの患者選択 [を増やす] 改革の効果

Longo F, et al: Does hospital competition improve efficiency? The effect of the patient choice reform in England. Health Economics 28(5):618-640, 2019 [量的研究]

○生産性増加指数は最良のパフォーマンスの病院を同定するか？イングランドNHSで得られたエビデンス

Aragon MJA, et al: Can productivity growth measures identify best performing hospitals? Evidence from the English National Health Service. Health Economics 28(3):364-372, 2019 [量的研究]

181号(2019.8.1)(通算161回)(2019年分その5:7論文)

○OECD加盟国の医師と看護師の不足と過剰を予測する：何が見えているか

Scheffler RM, et al: Projecting shortages and surpluses of doctors and nurses in the OECD: What loom ahead. Health Economics, Policy and Law 14(2):274-290, 2019 [量的研究]

○ [アメリカの] 職場でのウェルネスプログラムが被用者の健康と経済的アウトカムに与える影響：ランダム化比較対照試験

Song Z, et al: Effect of a workplace wellness program on employee health and economic outcomes: A randomized clinical trial. JAMA 321(15):1491-1501, 2019 [量的研究]

○ [アメリカでの] 高齢者に対するケアマネジメント：看護師、ソーシャルワーカー、医師の役割

Donelan K, et al: Care management for older adults: The roles of nurses, social workers, and physicians. Health Affairs 38(6):941-949, 2019 [量的研究]

○失業者は高齢者ケアのために訓練できるか？ [ドイツにおける] 高齢者ケアの補助金付き訓練の効果

Dauth C, et al: Can the unemployed be trained to care for the elderly? The effects of subsidized training in elderly care. Health Economics 28(4):543-555, 2019 [量的研究・政策研究]

○終末期の高齢者のQOLを最大化するためのサービス提供モデル：迅速文献レビュー

Evans CJ, et al: Service delivery models to maximize quality of life for older people at the end of life: A rapid review. The Milbank Quarterly 97(1):113-175, 2019 [文献レビュー]

○EQ-5D-5Lでは捉えられない健康関連のQOL：国際患者調査の結果

Ffthymiadou O, et al: Health related quality of life aspects not captured by EQ-5D-5L: Results from an international survey of patients. Health Policy 123(2):159-165, 2019 [量的研究]

○パーソン・センタード・ケアと個別化医療：和解できない対立物か潜在的仲間か？

El-Alti L, et al: Person centered care and personalized medicine: Irreconcilable opposites or potential companions? Health Care Analysis 27(1):45-59, 2019 [理論研究]

182号(2019.9.1)(通算162回)(2019年分その6:6論文)

○垂直統合と医療の質、効率、患者中心のアウトカム [との関係] についての体系的文献レビュー

Machta RM, et al: A systematic review of vertical integration and quality of care, efficiency, and patient-centered outcomes. *Health Care Management Review* 44(2):159-173, 2019 [文献レビュー]

○ [アメリカにおける病院と医師の] 統合がメディケアの外来化学療法の利用・費用に与える影響

Jung J, et al: The impact of integration on outpatient chemotherapy use and spending in Medicare. *Health Economics* 28(4):517-528, 2019 [量的研究]

○ [アメリカの] 医療提供における未公開株投資の潜在的影響

Gondi S, et al: Potential implications of private equity investments in health care delivery. *JAMA* 321(11):1047-1048, 2019 [評論]

○ [アメリカ・メディケアの] 病院への再入院削減プログラムのパフォーマンス評価とペナルティにおける社会的リスク要因の調整

Maddox HEJ, et al: Adjusting for social factors impacts performance and penalties in the hospital readmission reduction program. *Health Services Research* 54(2):327-336, 2019 [量的研究]

○ [アメリカの] メディケア質インセンティブ・プログラムによる透析施設のランク付けとペナルティにおける社会的リスク要因の役割

Qi AC, et al: The role of social risk factors in dialysis facility ratings and penalties under a Medicare Quality Incentive Program. *Health Affairs* 38(7):1101-1109, 2019 [量的研究]

○ [アメリカの] 調整済み死亡率はメディケア・アドバンテッジ [マネジドケア型のメディケア] で旧来型メディケアより低い、死亡率は時間が経つと収斂する

Newhouse JP, et al: Adjusted mortality rates are lower for Medicare Advantage than Traditional Medicare, but the rates converge over time. *Health Affairs* 38(4):554-560, 2019 [量的研究]

183号(2019.10.1)(通算163回)(2019年分その7:5論文)

○高齢者へのエイジズム [高齢者差別] を減らすための働きかけ：体系的文献レビューとメタアナリシス

Burnew D, et al: Interventions to reduce ageism against older adults: A systematic review and meta-analysis. *American Journal of Public Health* 2019;109(8):1130, e1-e9. doi:10.2105/AJPH.2019.305123 [文献レビュー]

○WHOがプライマリ・ヘルスケアの概念と実践で医師の役割を無視したことについて

Litsios S: On the World Health Organization's neglect of the role of medical doctors in its conception and practice of primary health care. *International Journal of Health Services* 49(3):642-657, 2019. [評論] (ウェブ上に全文公開)

○医師のリーダーシップ [病院のCEOであること] は [アメリカの] 病院 [入院医療] の質、作業効率と財務実績に影響するか？

Tasi MC, et al: Does physician leadership affect hospital quality, operational efficiency, and financial performance? Health Care Management Review 44(3):256-262, 2019 [量的研究]

○身体運動 vs 余命の短縮？ [オランダでの] 表明選好法を用いた身体運動に対する選好調査
Kjaer T, et al: Physical exercise versus shorter life expectancy? An investigation into preferences for physical activities using a stated preference approach. Health Policy 123(8):790-796, 2019 [量的研究]

○「もっと運動を」を超えて：中・高年で身体運動のリズムを感じる

Phoenix C, et al: Beyond "Move more": Feeling the rhythms of physical activity in mid and later-life. Social Science & Medicine 231:47-54, 2019 [質的研究]

184号 (2019.11.1)(通算164回)(2019年分その8:7論文)

○ [スウェーデンにおける] 高齢者の就業期間の延長とそれが死亡率と [身体的] 健康に与える影響：プロペンシティ・スコア・マッチング

Eyjolfsdottir HS, et al: Prolongation of working life and its effect on mortality and health in older adults: Propensity score matching. Social Science & Medicine 226:77-86, 2019 [量的研究]

○韓国における貧困者に対する外来医療 [と処方薬へ] の [低額] 自己負担 [導入] の相殺効果

Ko H: Offset effects of outpatient cost-sharing for the poor in Korea. Medical Care 57(8):648-653, 2019 [量的研究]

○医療費抑制政策 [薬価引き下げ] は費用を節減し医師の処方行動に影響を与えるか？韓国での糖尿病薬への医薬政策からの教訓

Kang S-O, et al: Do cost containment policies save money and influence physicians' prescribing behavior? Lessons from South Korea's drug policy for diabetes medication. International Journal for Quality in Health Care 31(2):96-102, 2019 [政策研究・量的研究]

○日本と韓国の1986-2015年の自殺の年齢・時代・コホート趨勢

Kino S, et al: Age, period, cohort trends of suicide in Japan and Korea (1986-2015): A tale of two countries. Social Science & Medicine 235:112385(1-9), 2019 [量的研究]

○健康な人々のための医療保険？スウェーデンにおける民間医療保険

Kullberg L, et al: Health insurance for the elderly? Voluntary health insurance in Sweden. Health Policy 123(8):737-746, 2019 [混合研究]

○普遍的アクセスは任意加入の民間保険市場で達成できるか？競合する [福祉国家ロジックと保険] ロジックにとらわれたオランダの民間保険

Vonk RAA, et al: Can universal access be achieved in a voluntary private health insurance market? Dutch private insurers caught between competing logics. Health Eco

nomics, Policy and Law 14(3):315-336, 2019 [政策研究]

○ヨーロッパにおける社会医療保険：基礎的概念と新しい原則

Wendt C: Social health insurance in Europe: Basic concepts and new principles. Journal of Health Politics, Policy and Law 44(4):665-677, 2019 [評論・国際比較]

185号) (2019.12.1) (通算165回)(2019年分その9:7論文)

○ [アメリカにおける] 認知症に帰するメディケア費用

White L, et al: Medicare expenditures attributable to dementia. Health Services Research 54(4):773-781, 2019 [量的研究]

○カナダ・オンタリオ州における在宅ケアを受けている要介護者のうち認知症者の非認知症者に比べた増分医療費—コホート調査

Mondor L, et al: The incremental health care costs of frailty among home care recipients with and without dementia in Ontario, Canada - A cohort study. Medical Care 57(7):512-520, 2019 [量的研究]

○ [イギリスにおける] フォーマルケアとインフォーマルケアとの関係の調査：同居している人々 [娘] のパネルデータを用いた応用

Urwin S, et al: Investigating the relationship between formal and informal care: an application using panel data for people living together. Health Economics 28(4):984-997, 2019 [量的研究]

○ [アメリカにおける] 長期ケアの場とアウトカム、及び [メディケア・メディケイドの] 重複受給者間の [サービス利用] 格差についての全国調査

Gorges RJ, et al: A national examination of long-term care setting, outcomes, and disparities among elderly dual eligibles. Health Affairs 38(7):1110-1118, 2019 [量的研究]

○同僚医師がガン死亡者の終末期医療の密度に与える影響

Keating NL, et al: Influence of peer physicians on intensity of end-of-life care for cancer decedent. Medical Care 57(6):468-474, 2019 [量的研究]

○診療ガイドライン、専門技能と患者中心との間のパラドックス：医療のトライアング

Issel LM: Paradoxes of practice guidelines, professional expertise, and patient centeredness: The Medical Care Triangle. Medical Care Research and Review 76(4):359-385, 2019 [理論研究]

○ソーシャルキャピタルと身体的健康：2007-2018年に発表された文献の最新レビュー

Rodgers J, et al: Social capital and physical health: An updated review of the literature for 2007-2018. Social Science & Medicine 236:112360, 2019 [文献レビュー]

「二木立の医療経済・政策学関連ニューズレター」2019(174~185号)

「私の好きな名言・警句の紹介」2019年分 人名索引

注：カッコ内は「ニューズレター」の号数。各行ごとに「ニューズレター」掲載順。外国人は姓のみ（ただし例外あり。例：トム・クルーズ）。映画・テレビドラマ・芝居のセリフはその名称（「」表示）。カッコ内の(A=B)：B号で初めて紹介したもののA号での再掲。

あ行

伊東光晴(174, 177), 上野千鶴子(174, 178), 大沼保昭(175), 荒木雅博(175), 梅原猛(176), 大塚義治(176), イチロー(176, 177), 安西徹雄(178), 大野晋(178), 宇沢弘文(179), エンゲルス(179), アラゴン, L(179), 池内了(179), 内田樹(179), 岩井克彦(180), 荻本欽一(180, 181), エモット, B(181), 浅羽通明(182), 今泉忠明(184), 伊藤比呂美(184), 梅棹忠夫(185=79)

か行

権丈善一(174, 180, 185), コーン, LD(174), 菊池正史(175), 「グリーンブック」(177), 門井慶喜(177), 樹木希林(177), 小池晃(179), グラムシ(179), 加藤一二三(179, 180), 加藤結花(179), 小島慶子(180), アルマーニ, J(181), コネリー, S(181), 巨人(182), 河野義行(182), キャメロン(183), 片山杜秀(183), 梶谷懐(183), キム・スヒョン(184)

さ行

酒向真理(176), 佐藤敏信(177), 白澤政和(178), スー, J(178), 佐々木実(179), 渋沢栄一(180), ジャニー喜田川(181), 澤田蒼梧(181), 櫻井正一郎(182), 「才能」についての名言一覧(182), 相馬孝博(183)

た行

高崎卓馬(176), ドーア, R(176), 土肥幸代(176), 立川志の輔(177), 『歎異抄』(178), 高村薫(178), 高橋大輔(180), ドラモンド, MF(181), 田中滋(181), 立川談四楼(182), 貴景勝(183), チャプリン(184), 外山滋比古(185), 暉峻淑子(185)

な行

二木立(174, 176, 177, 179, 180, 181, 182, 183), 永田和宏(174, 178), 西部遭(175), 中原淳(175), 中橋孝博(178), 野村拓(179), 中村明(180), 中坊公平(181=109), 新見正則(181), ニーバー, R(182), 中村好一(184), 中村喜四郎(185)

は行

本郷和人(174, 184), 波多野誼余夫(175), 保坂正康(175, 179, 184), 原田正樹(175), 福田和也(177=50), 橋本治(177), 平田オリザ(177), 本田圭佑(178), ブレディみかこ(179, 184), ブーキン, D(179), 古田敦也(180=9), 本間希樹(180), 藤本奈々恵(181), 羽生善治(182), 長谷川和夫(183), ハラリ, YN(183), ブルース・リー(185)

ま行

松本清張(177=50), 丸山博(179=6), マーシャル(180), ウェーバー, M(180=105), ミュラー, JZ(181), 松井彰彦(182), ミラー, A(182), 牧野邦昭(183), 前川喜平(183)

や行

山田太一(176), 湯浅誠(177), 横倉義武(178), 吉見俊哉(180), 山元研二(183), 吉原毅(183), 山口慎太郎(185)

ら行

ロマン・ロラン(179), ロビンソン, J(180=5), ロスリング, H(180), ラインハルト, U(181), リブ
セット, SM(181),

わ行

渡辺利夫(177=65), 渡辺一夫(179), 渡部律子(184), 綿野恵太(185)

